

## 地域社会貢献部門

飯吉令枝, 大久保明子, 片平伸子, 渡邊千春, 竹原則子, 内藤みほ, 川里庸子

新潟県立看護大学看護研究交流センター 地域社会貢献部門

### I. 看護大いきいきサロンの開催

#### 1. 平成 24 年度看護大いきいきサロンの開催状況

地域社会貢献部門では, 平成 21 年度から開催してきた「看護大いきいきサロン」を継続して企画・運営した。

「看護大いきいきサロン」は, 地域住民の方々が気軽に大学に足を運び, 健康について関心を寄せ, 学び合う場を目指して実施している。平成 24 年度は 5 月から 12 月の月に 1 回, 平日夕方に実施した。講師は, 上越地域で開業している医師および薬剤師, 大学の教員等で, それぞれの先生から, 専門とするテーマでの講演のあと, 地域住民の方々からの質問に答えてもらう時間を設けた。

#### 1) 看護大いきいきサロンの開催日時およびテーマ・講師と参加人数

平成 24 年度の 8 回のテーマ, 講師は以下のとおりである。

表 1 平成 24 年度看護大いきいきサロンの開催日時およびテーマ・講師と参加人数

回	日時	テーマ	講師	参加人数
第 1 回	5/10 (木) 18:30~19:30	地域リハビリテーションの一環としての在宅療養	揚石医院 院長 揚石義夫先生	68 人
第 2 回	6/19 (火) 18:30~19:30	自分の親が認知症?と思ったら	新潟県立精神医療センター精神科 稲井徳栄先生	104 人
第 3 回	7/11 (水) 18:30~19:30	大切な人のための禁煙サポート —家族みんなで禁煙チャレンジ—	新潟県立看護大学 講師 山田正実	50 人
第 4 回	8/10 (金) 18:30~19:30	自分でつくる・自分でまもる健康 ライフ	新潟県立看護大学 准教授 田口玲子	49 人
第 5 回	9/13 (木) 18:00~19:00	迫りくる認知症に備える	相沢内科医院 院長 相沢研一先生	117 人
第 6 回	10/17 (水) 18:00~19:00	身近な感染症 —保健所の感染管理活動—	上越保健所 所長 西脇京子先生	74 人
第 7 回	11/7 (水) 18:00~19:00	身近な薬と健康食品・サプリメント	あすなる調剤薬局 薬剤師 川端茂夫先生	72 人
第 8 回	12/4 (火) 18:00~19:00	排尿トラブル対処法	新潟県立看護大学 教授 小泉美佐子	61 人

認知症に関するテーマでは, 参加者が 100 人以上であった。

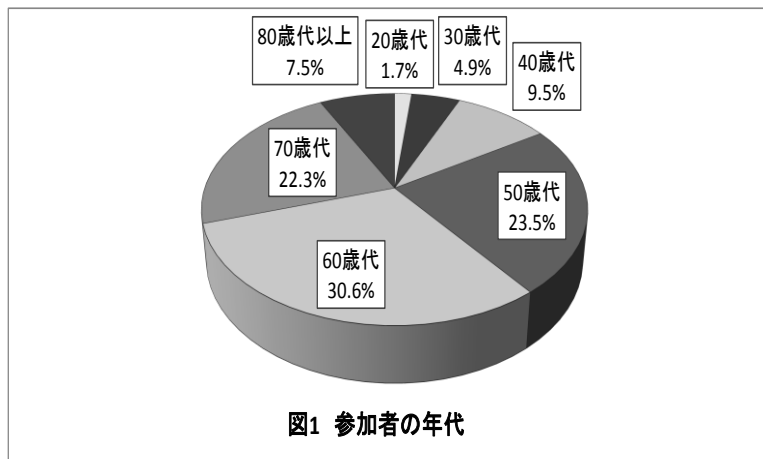
平成 21 年度から開始して, いきいきサロンの参加者は通算 2119 人となった。

2) 看護大いきいきサロン参加者のアンケート結果

(1) 参加者の年代・性別

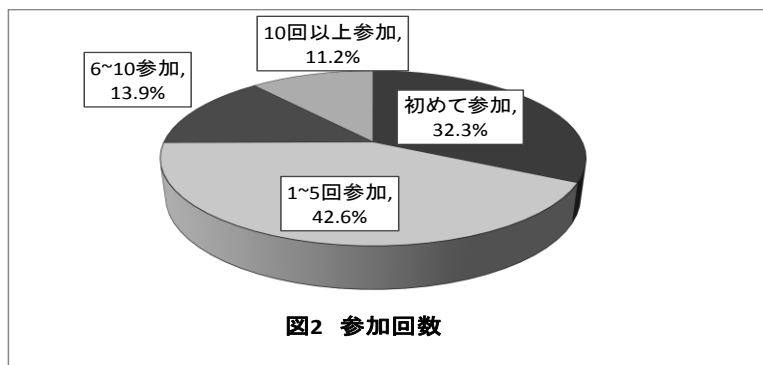
60歳代が30.6%と最も多く、次いで50歳代が23.5%、70歳代が22.3%であった。

性別では、男性が23.6%、女性が76.4%であった。



(2) 参加回数

3割の人が初めての参加であった。これまでに1~5回参加したことがある人が42.6%と最も多かった。

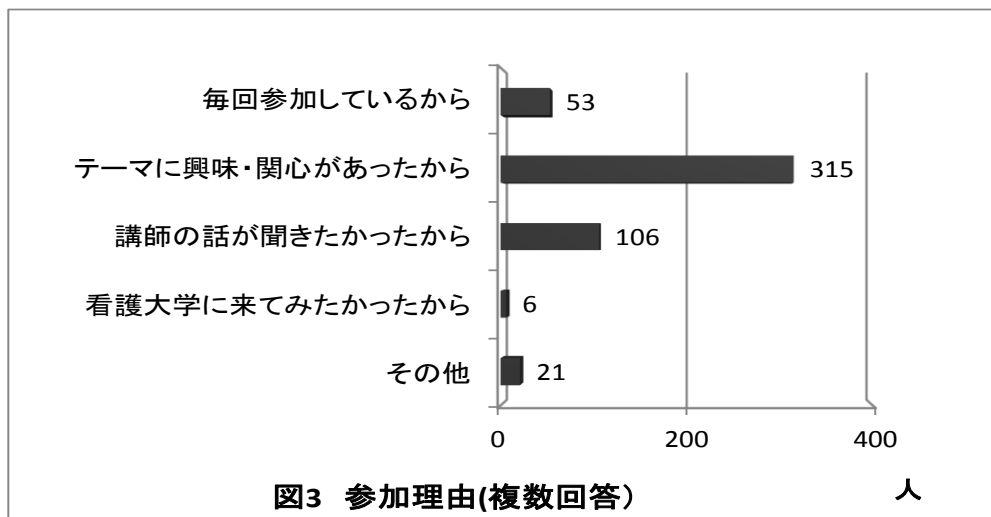


(3) 周知方法

「ポスター・チラシを見て」参加した人が135人(32.0%)と最も多く、次いで「新聞広告」100人(24.3%), 「上越広報誌」85人(20.6%)であった。一方、「ホームページを見て」や「大学の教職員から聞いて」参加した人は1割に満たなかった。

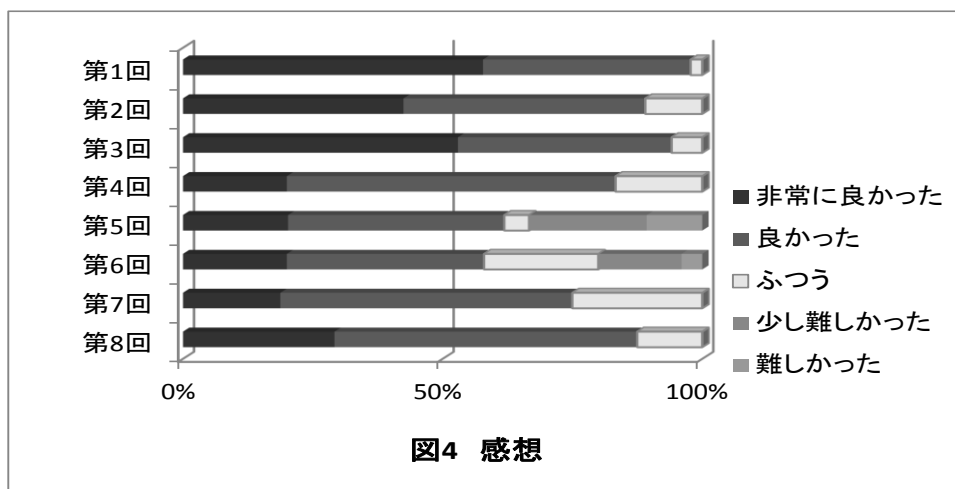
(4) 参加理由

参加理由では、「テーマに興味・関心があったから」が最も多く、次いで「講師の話が聞きたかったから」であった。



(5) 講師の話についての感想

8 回中 5 回の講義では「非常によかった」「よかった」と回答した人が 8 割以上であった。



(6) 今後とりあげてほしいテーマ

生活習慣病，認知症と在宅介護，脳血管疾患，がん，骨粗鬆症，白内障や老眼，ストレス，介護についてなど，多くのテーマがあげられた。

2. いきいきサロンの運営

1) 企画実行メンバー

地域社会貢献部門のメンバー7名が主に企画と運営を行った。サロン通信の作成，新聞広告への掲載依頼，講師交渉と接待，参加者への景品の準備，当日運営などをそれぞれが役割分担して行った。

ポスター・チラシの作成・発送，講師資料の印刷，当日の受付等については，看護研究交流センター事務局の事務職員から，当日の会場準備は大学の事務職員から手伝ってもらった。

当日の運営では，学生ボランティア2名から，会場準備と受付を行ってもらった。

2) 広報活動

看護研究交流センターの案内パンフレットの発送，FM-Jの出演（1回），看護大いきいきサロン通信の発行（2回）の他，毎回実施前に，ポスター・チラシの作成と配布，大学ホームページでの情報公開，NICかわら版，上越タイムス「くびきの創信」への掲載を行った。

3) 講師謝礼

学外からの講師には1回1万円および交通費を支払った。

4) 参加者への接待

昨年と同様，参加者に対してお茶のサービスを行った。初回参加者には講義資料の保管用ファイルを，また各回の参加の記念として，看護大いきいきサロンと大学のロゴマークがついたティッシュ等を配布した。

### 3. 平成 23 年度の評価と今後の課題

いきいきサロンも 4 年目を迎え、参加者は通算で 2 千人を超え、地域住民の方々にも周知されてきている。テーマに興味・関心があって参加される方が多く、健康について地域住民の方々が気軽に学べる場になってきていると考える。

反省点として、今年度は講演時間を超えた講義が何回もあり、質問や意見交換の機会を十分にとることができなかつたことが上げられる。次年度は講演内容・時間の事前打ち合わせを十分にとる必要があると考える。また天候を考慮し、次年度は 8 月と 12 月を除き年 6 回開催とし、地域住民の方のニーズに合った内容を今後さらに検討していきたいと考える。

## II. 長野県看護大学看護実践国際研究センター視察

本学と同様の規模の県立看護大学で、地域貢献部門のある長野県看護大学看護実践国際研究センターに本学看護研究交流センター長と地域社会貢献部門のメンバー 3 名が視察に行った。

### 1. 長野県看護大学看護実践国際研究センターの概要

#### 1) 長野県看護大学看護実践国際研究センターの構成

研究部門（看護地域貢献研究部門、異文化看護国際研究部門、看護実践改革・学外機関交流推進研究部門）、教育部門、支援部門で構成されている。

#### 2) 看護地域貢献研究部門

地域貢献のみでなく研究のための講座であることを参加者に伝えて実施している。本学で実施しているような講座は、センターではなく大学広報委員会で実施している。

部門には、在宅療養者と家族のための移行期看護プロジェクト、遠隔看護開発基盤研究プロジェクト、水中運動プロジェクト、看護職者の教育・支援プロジェクト、終末期看護研究プロジェクト等があり、領域を超えて各プロジェクトに興味のある教員が集まって進めている。運営費は、センターからの研究費(120 万程度)と科研費をリンクさせて資金を運用している。若手の教員が他領域の教員にも相談したり意見交換できる機会にもなるほか、院生の参加等、研究能力の向上や地域との関係構築にも役立っている。

#### 3) 他部門との連携の在り方

一部門に限らず重複して参加している教員もいる。教員間の横のつながりが良いため、会議に企画が上がる前に情報提供や打診が行われており、企画が重なることはない。

### 2. 視察をふまえて本学での地域貢献部門（いきいきサロン）運営に関する検討

本学の地域貢献部門は地域への貢献のみの機能であったが、教員や学生が行う研究の対象者候補としてサロン参加者をとらえてもよいのではないかとの意見が出された。

また、今後は「大学でなければできないこと」という観点から、病院等で実施している健康講座と競合しないよう、大学教員を中心として看護のテーマにこだわらずに行うことを検討していくことや、実施回数や講演の長さ等の見直しをしていくことが必要であるとする。



新潟県立看護大学 看護研究交流センター 地域社会貢献部門

# 看護大いきいきサロン通信

第4巻1号 2012/5/10発行

## 看護大いきいきサロンとは？

健康に関心のある皆様が、気楽に集いながら、知識を深める市民公開講座です。今年で4年目を迎え、昨年は毎回60～100名の方からご参加頂きました。お茶を片手に和やかな雰囲気の中、地域のホームドクターや看護大の教員等が、健康に関するテーマについて丁寧に分かりやすくお話しています。また、普段は聞けない素朴な質問にもお答えしています。今年度は、5月～12月まで月1回の平日夕方に開催する予定です。



## 今年度の開催予定

第1回：平成24年5月10日（木）

18時30分～19時30分

テーマ：「地域リハビリテーションの一環としての在宅療養」

講師：医療法人社団揚石医院  
院長 揚石 義夫

第2回：平成24年6月19日（火）

18時30分～19時30分

テーマ：「自分の親が認知症？と思ったら」

講師：新潟県立精神医療センター  
精神科 稲井 徳栄

第3回：平成24年7月11日（水）

18時30分～19時30分

テーマ：「大切な人のための禁煙サポート」

講師：新潟県立看護大学  
講師 山田 正実

第4回：平成24年8月10日（金）

18時30分～19時30分

テーマ：「自分でつくる・自分でまもる健康ライフ」

講師：新潟県立看護大学  
准教授 田口 玲子



### <9月以降の予定> \*開催日と時間にご注意下さい。

第5回：平成24年9月13日（水） 18時～19時

テーマ：「迫りくる認知症に備えて」

講師：相沢内科医院 院長 相沢 研一

第6回：平成24年10月17日（水）18時～19時

テーマ：「身近な感染症—保健所の感染管理活動—」

講師：新潟県上越保健所長 西脇 京子

第7回：平成24年11月7日（水）18時～19時

テーマ：「身近な薬と健康食品・サプリメント」

講師：あすなろ調剤薬局 薬剤師 川端 茂夫

第8回：平成24年12月4日（火）18時～19時

テーマ：「排尿トラブル対処法」

講師：新潟県立看護大学 教授 小泉 美佐子



事前申し込みは不要です。どうぞお気軽にご参加ください。  
皆様にお会いできることを楽しみにしております。

看護大いきいきサロン スタッフ一同



新潟県立看護大学 看護研究交流センター 地域社会貢献部門

# 看護大いきいきサロン通信

第4巻2号 2012/9/13発行

## 看護大いきいきサロンとは？

健康に関心のある皆様が、気楽に集いながら、知識を深める市民公開講座です。今年で4年目を迎え、昨年は毎回60～100名の方からご参加頂きました。お茶を片手に和やかな雰囲気の中、地域のホームドクターや看護大の教員等が、健康に関するテーマについて丁寧に分かりやすくお話しています。今年度もすでに開催されており、9月～12月の各月の平日夕方に様々なテーマで開催する予定です。



## これまでのダイジェスト[第1回～第4回まで]



第1回：平成24年5月10日 テーマ：「地域リハビリテーションの一環としての在宅療養」

講師：揚石医院 院長 揚石義夫



地域をひとつの大きな医療機関と捉え、地域のどこに暮らしていても、継続した治療とケアを提供する地域リハビリテーションについて、脳卒中の医療連携パスを例にあげ、お話して頂きました。参加者の方からは、上越で在宅という言葉を聞く機会が少ないので、今日のお話をもっと地域の人たちに広めて欲しいとの声がありました。

第2回：平成24年6月19日 テーマ：「自分の親が認知症？と思ったら」

講師：新潟県立精神医療センター 精神科 稲井徳栄

認知症と一口にいっても、アルツハイマーや脳血管性によるものなど種類が様々で、特徴があることをお話して頂きました。また、うつ病と認知症との違いなど、判断が難しいものであることや、受診についてもアドバイスをして頂きました。



第3回：平成24年7月11日 テーマ：「大切な人のための禁煙サポート」

講師：新潟県立看護大学 講師 山田正実



喫煙による身体的な影響だけでなく、精神的な影響(ニコチン中毒等)も含めてタバコの害が理解でき、改めて禁煙の必要性を感じました。禁煙外来等、どんな治療を行うのか、治療費用等もお話して頂きました。参加者の方からは、「子供の禁煙に取り組みたい」との声が聞かれました。

第4回：平成24年8月10日 テーマ：「自分でつくる・自分でまもる健康ライフ」

講師：新潟県立看護大学 准教授 田口 玲子

第一部は健康と『健康づくり』について、我が国の取り組み等を、第二部は『「健康」の理解と選択・自己決定のために』と題して、健康食品の選び方を、第三部では『健康習慣のための情報』をお話いただきました。流行の健康食品などの話題もあり資料も豊富で、もっとじっくり聞きたいとの声が多かったです。



9月以降は、各月18時からの開始となります。皆様どうぞいきいきサロンへお越し下さい！